

オンライン開催  
無料

# 新型コロナウイルス感染拡大防止に向けた 地域プラットフォーム 形成シンポジウム

## 第2回ワークショップ

2021年9月24日(金) 14:20-17:00

対象 コロナ対策に係わる地方自治体・医療現場・  
大学等研究開発機関・企業の皆さま  
定員 150名

## ABOUT

昨年度より新型コロナウイルス感染拡大防止に向けて活動する地方自治体の皆さま、企業や大学等研究機関の皆さまを対象に、「新型コロナウイルス感染拡大防止に向けた地域プラットフォーム形成シンポジウム」のワークショップを開催しました。コロナ感染防止に向けて活動される皆さまのご尽力でワクチン接種が進む一方、デルタ株のまん延に対して新たな局面での初動が大切な時期となっております。コロナに負けない柔軟な社会づくりを目指して、広域・産学官連携のためのネットワーク構築の機会として頂けましたら幸いです。

## THEME & SCHEDULE

### テーマ

新型コロナウイルス感染症最前線の動きと  
感染防止に向けた新たなPCR検査体制

- 14:20 ● 主催者挨拶
- 14:30 ● 事例紹介1 (講演／質疑応答)  
「札幌市におけるコロナをめぐる連携体制の構築について」  
札幌市保健所 医療対策室疫学担当部長 中西 香織 氏
- 15:15 ● 事例紹介2 (講演／質疑応答)  
「大学と行政が共同で取り組む新型コロナウイルス感染症に対する  
全自動PCR検査体制の整備と疫学研究」  
京都大学大学院医学研究科 臨床病態検査学  
京都大学医学部附属病院 検査部・感染制御部 准教授 教授 松村 康史 氏
- 16:00 ● 事例紹介3 (講演／質疑応答)  
「下水疫学による新型コロナウイルス感染者の検知と個別施設での適用」  
株式会社島津テクノリサーチ 環境事業部 副事業部長兼分析研究センター長 八十島 誠 氏

# SPEAKERS & OVERVIEW

## 事例紹介1



### 中西 香織 氏

札幌市保健所 医療対策室疫学担当部長

#### 概要

「札幌市全体を大きな医療機関と考え対策を行っていく必要がある」4波後のシンポジウムにて、コロナ最前線で戦っている医師から出た言葉である。市内の医療機関、札幌市医師会、最大時には1000人体制となる保健所コロナ対策室さらには、介護施設等との連携がどのように行われ、どのように機能しているかを5波における各部門の稼働状況を含め報告する。

## 事例紹介2



### 松村 康史 氏

京都大学大学院医学研究科 臨床病態検査学

京都大学医学部附属病院 検査部・感染制御部 准教授

#### 概要

新型コロナウイルスの診断・治療の要となる急性期医療機関において、迅速かつ高精度な検査体制の構築が重要である。京都大学では、大阪市立大学との共同研究および地方自治体との協力のもとで、全自動PCR検査装置を大阪府・京都市内の複数の急性期医療機関に導入し、その検査体制のサポートと疫学研究を行う体制を構築し運用している。

## 事例紹介3



### 八十島 誠 氏

株式会社島津テクノロジー

環境事業部 副事業部長兼分析研究センター長

#### 概要

新型コロナウイルス感染症の感染者の糞便にはウイルスが排泄される事が明らかとなり、欧米諸国を中心に下水を用いた新型コロナウイルス感染症の感染者の早期検知、流行収束の見極めのツールとして下水疫学が急速に進展してきた。本講では、日本での下水疫学調査について紹介するとともに、島津テクノロジーが行ってきた個別施設における下水疫学の応用である「京都モデル」の取り組みについて紹介する。